

2023年3月期第2四半期決算概要（補足資料）

2022年11月11日

サクサ ホールディングス株式会社



■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績予想、将来予想については、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

■ 本資料における数値の表示方法

本資料に記載されている各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。また、増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

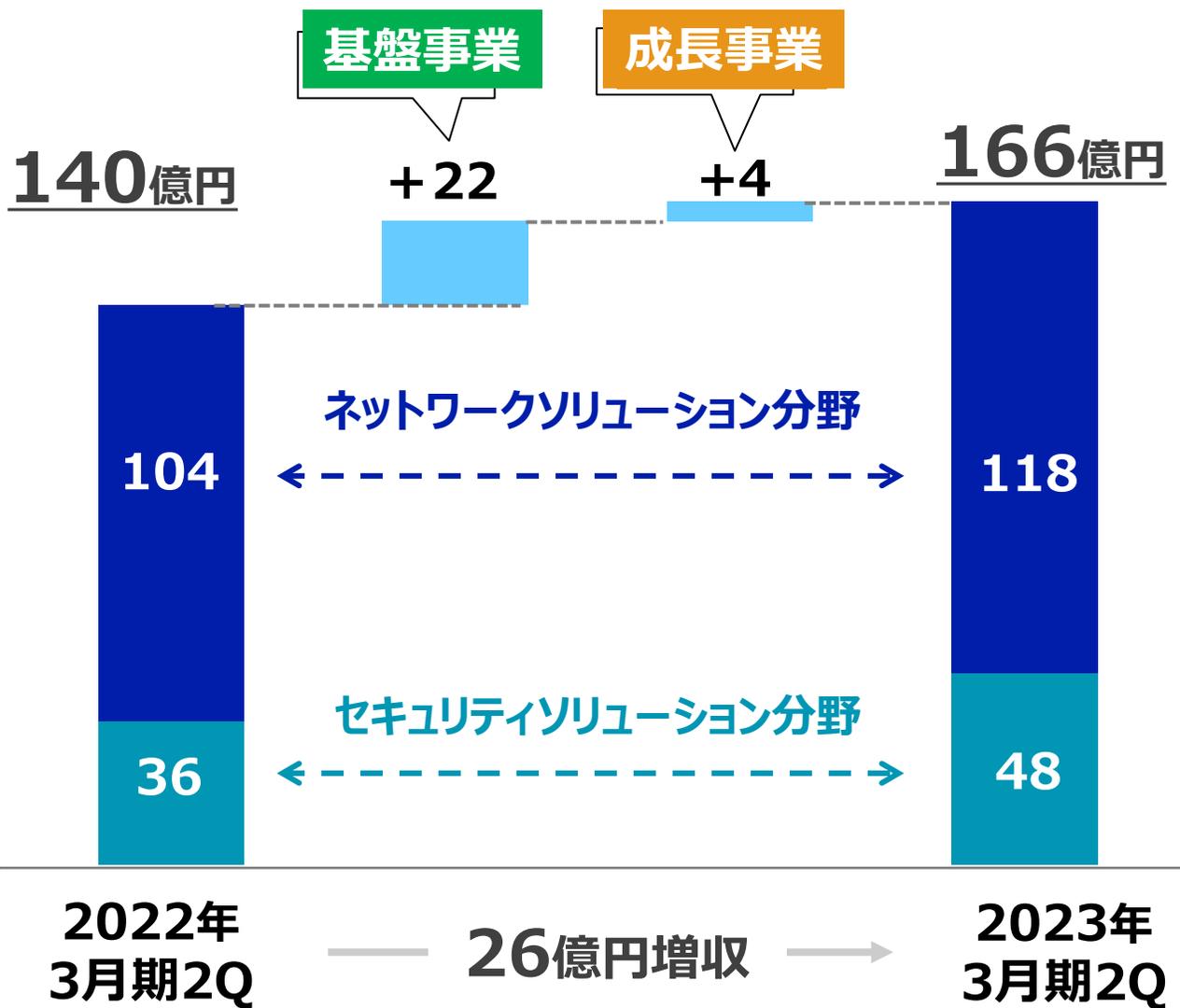
1 連結損益計算書

(単位：億円)

	2022年3月期 2Q(A)	2023年3月期 2Q(B)	増減	
			(B - A)	比率
キーテレホンシステム	49	62	+13	+27%
ネットワーク機器他	55	56	+1	+2%
ネットワークソリューション分野	104	118	+14	+13%
セキュリティシステム	21	30	+9	+43%
部品他	15	17	+2	+13%
セキュリティソリューション分野	36	48	+12	+33%
連結売上高	140	166	+26	+19%
連結営業利益	△4	0	+4	-
連結経常利益	△3	0	+3	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1	△4	△5	-
1株当たり当期純利益	23.86円	△68.55円	△92.41円	-
ROE	0.6%	-	-	-
配当	-	-		

2 連結売上高の主な増減内訳

(単位：億円)



	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	差異
基盤事業	60	70	+10
	35	47	+12
	95	117	+22
成長事業	44	49	+5
	1	1	△0
	45	49	+4

※ **基盤事業** : ボタン電話装置、公衆電話、防犯設備機器、アミューズメント、EMS、その他

※ **成長事業** : ビジュアルソリューション、ITビジネス、SIビジネス

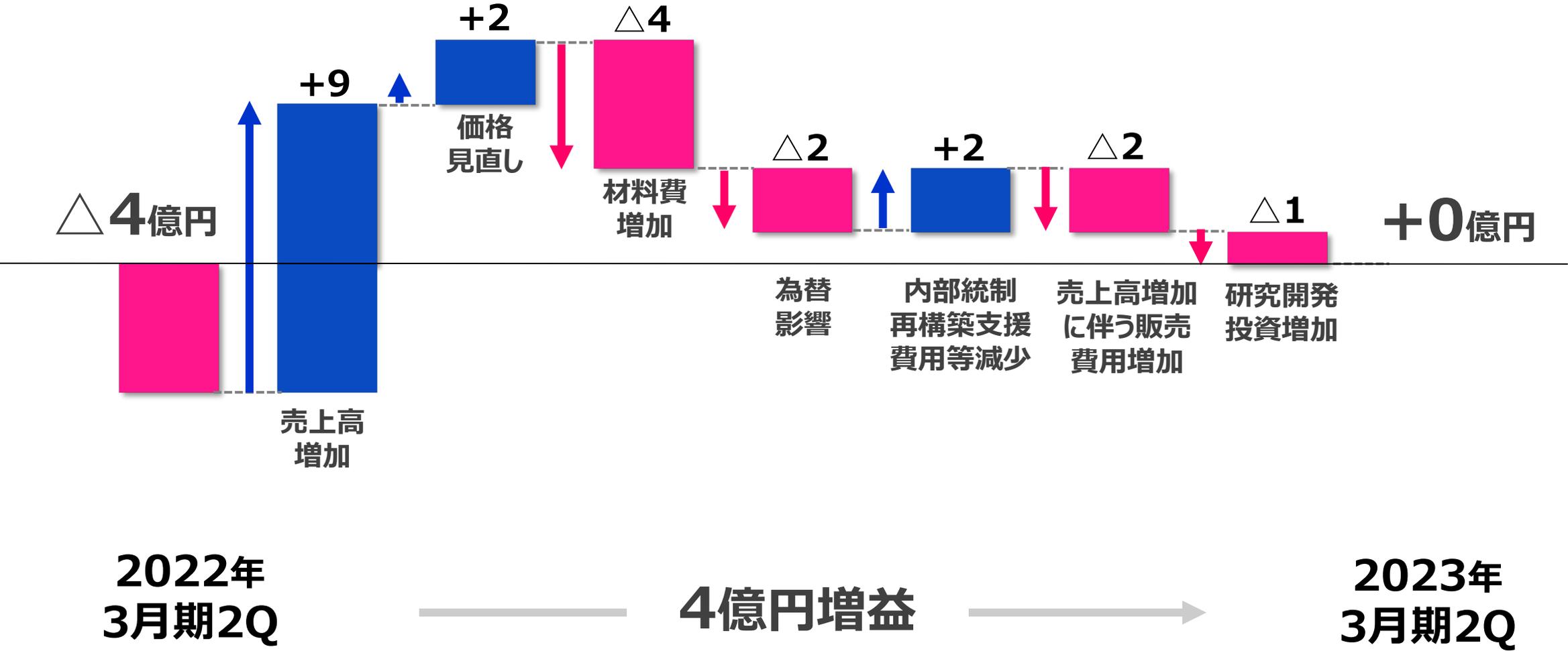
3 連結売上高の事業別増減内訳

(単位：億円)

区分		2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	差異
基盤事業	ボタン電話装置	50	63	+13
	公衆電話	6	4	△2
	防犯設備機器	14	16	+2
	アミューズメント	10	19	+9
	EMS	12	12	+0
	その他	4	2	△2
	計	95	117	+22
成長事業	ビジュアルソリューション	5	7	+2
	ITビジネス	24	29	+5
	SIビジネス	16	13	△3
	計	45	49	+4
合計		140	166	+26

4 連結営業利益の主な増減内訳

(単位：億円)



5-1 連結貸借対照表

(単位：億円)

資産の部	2022年3月期 期末(A)	2023年3月期 2Q末(B)	増減 (B - A)
流動資産	224	240	+16
固定資産他	145	140	△5
資産合計	369	380	+11

資産の部 サマリー

流動資産	【棚卸資産】	+17億円	資材・部品の調達難に伴う生産活動の遅れおよび 調達価格の高騰による増加
	【売上債権】	△4億円	売上債権の回収による減少
固定資産他	【有形固定資産】	△5億円	栃木地区不動産流動化による減少（△4）、 償却による減少（△1）

5-2 連結貸借対照表

(単位：億円)

負債・純資産の部	2022年3月期 期末(A)	2023年3月期 2Q末(B)	増減 (B-A)
流動負債	91	109	+18
固定負債	42	43	+1
負債合計	133	152	+19
純資産合計	236	228	△8
負債・純資産合計	369	380	+11
自己資本比率	63.8%	60.0%	△3.8%

負債の部 サマリー

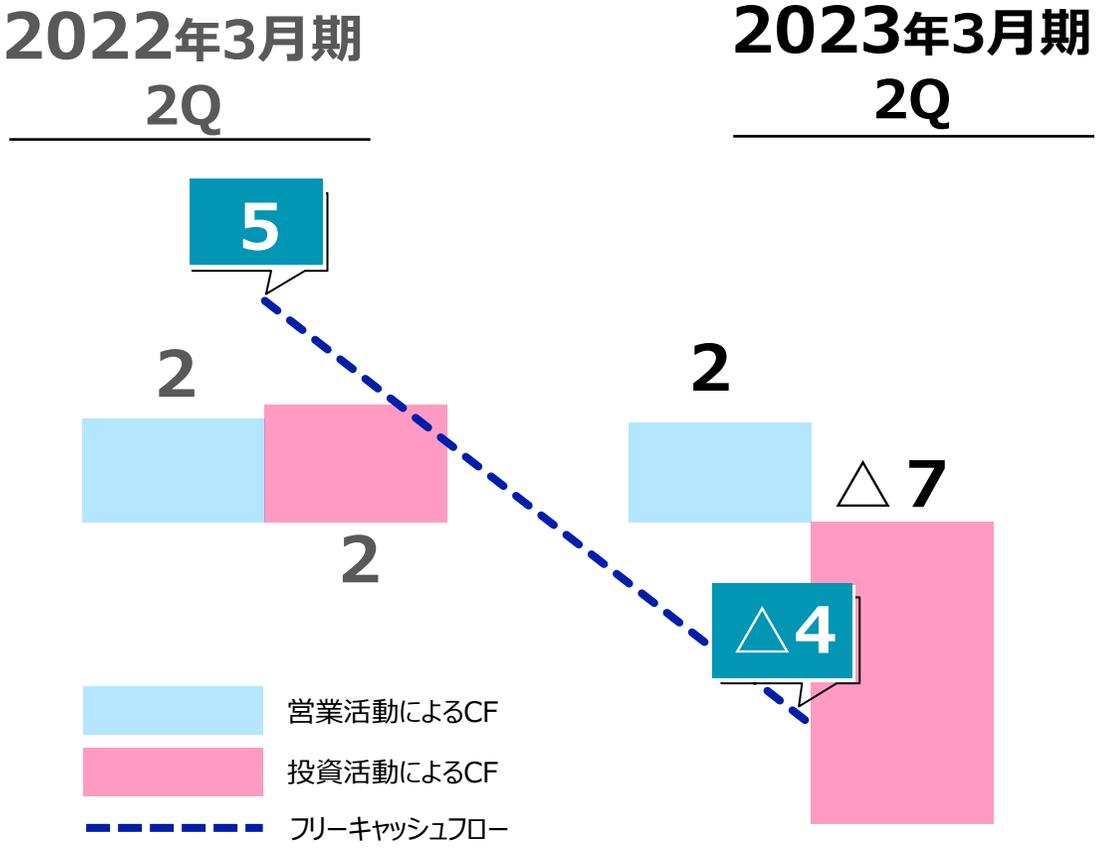
【仕入債務】 +12億円 資材・部品の調達難に伴う生産活動の遅れおよび調達価格の高騰による増加

【借入金】 +7億円 資金調達による増加（借入+9億円、返済△2億円）

6 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q
営業活動によるCF	2	2
投資活動によるCF	2	△7
フリーキャッシュフロー	5	△4
財務活動によるCF	7	5
現金及び現金同等物の 期首残高	78	70
現金及び現金同等物の 四半期末残高	89	71



2023年3月期 2Q サマリー

営業活動によるCF : 棚卸資産の増加 (△16)、仕入債務の増加 (+12)、売上債権の減少 (+4)
 投資活動によるCF : 資産除去債務の履行による支出 (△2)、有形・無形固定資産の取得による支出 (△2)



ビジョン (目指す姿)

つなげる技術の、その先へ。

心地よい暮らし、つまり、
安心で安全、快適で便利な環境の実現に向けて。
つなげる技術を、さらにつなげていくこと。
それを、お客様の明日へとつなげていく、サクサです。